

小規模企業景気動向調査

[平成27年3月期調査]

～弱い動きながら全業種で改善を示した小規模企業景況～

2015年4月28日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2015年3月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…弱い動きながら全業種で改善を示した小規模企業景況…◇

3月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は小幅改善となった。項目別に見ると、採算および資金繰りDIは小幅改善、売上額DIは大幅改善となった。全てのDIが改善したのは3ヶ月ぶりであるが、経営指導員からは、①緩やかに改善の兆しが見えてきたところもあるが、円安に伴うコスト増や人手不足が懸念材料となっており、先行きの見通しには慎重な意見が多い、②消費増税の影響は落ち着いているが、消費は落ち込んだままで推移しているなどの報告もあった。

<製造業> ◇…原材料高の影響が続くものの、受注が好調で再び持ち直した製造業…◇

製造業の業況DIは、わずかに改善となった。項目別に見ると、売上額、採算および資金繰りDIは多少改善となった。経営指導員から、好転材料として、①自動車関連や機械部品関連などで、取引先の業績好調を受けて受注が増加している、②一部の繊維関連で、中国からの撤退により仕事量は十分にあるなどの報告があった。また、悪化材料としては、食品関連で、原材料費が高止まりしており、薄利の状態が続いているなどの報告があった。

<建設業> ◇…人手不足が課題であるが、公共工事の受注が堅調で改善が続いた建設業…◇

建設業の業況DIは、小幅改善となった。項目別に見ると、売上額および資金繰りDIが多少改善、採算DIは大幅改善となった。経営指導員から、好転材料としては、①土木関連は、年度末の公共工事の受注により、売上が増加している、②引き続き、リフォーム関係は受注が安定しているなどの報告があった。また、悪化材料としては、①人手不足で受注に応えられない、②資材価格の高騰が続いており、利益を圧迫しているなどの報告があった。

<小売業> ◇…個人消費の低迷が続く中でも、季節需要により改善した小売業…◇

小売業の業況DIは、小幅改善となった。項目別に見ると、採算および資金繰りDIは小幅改善、売上額DIは大幅改善となった。経営指導員から、好転材料としては、①耐久消費財関連で、引越し等に伴って動きが出ており売上が増加した、②衣料関連で、卒業・入学シーズンを迎え、一部で売上が増加したなどの報告があった。また、悪化材料としては、①個人消費の低迷が続く、売上が減少している、②食品関連で、仕入価格の高騰により大型店との価格差が拡大するため、小規模小売店にとっては影響が大きいなどの報告があった。

<サービス業> ◇…春休みに入り、宿泊・観光関連を中心に大きく改善したサービス業…◇

サービス業の業況DIは、大幅改善となった。項目別に見ると、採算および資金繰りDIは大幅改善、売上額DIは10.0ptもの改善となった。経営指導員から、好転材料としては、①宿泊・観光関連で、春休みに入って利用客数が増加し、売上・採算が上向いた、②クリーニング業で、衣替えに伴う需要により、多少売上が増加した、③理美容業で、季節の変わり目で売上が微増したなどの報告があった。また、悪化材料としては、飲食関連で、仕入価格が上昇しているが価格転嫁ができず採算が厳しいなどの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲ 21.7	▲ 15.6	6.1	▲ 11.6	▲ 9.1	2.5	▲ 5.9	▲ 2.6	3.3
採算	▲ 28.1	▲ 23.9	4.2	▲ 23.5	▲ 21.1	2.4	▲ 21.8	▲ 16.7	5.1
資金繰り	▲ 22.3	▲ 19.1	3.2	▲ 19.6	▲ 18.2	1.4	▲ 14.9	▲ 14.1	0.8
業況	▲ 27.2	▲ 23.3	3.9	▲ 23.5	▲ 21.6	1.9	▲ 16.5	▲ 11.9	4.6

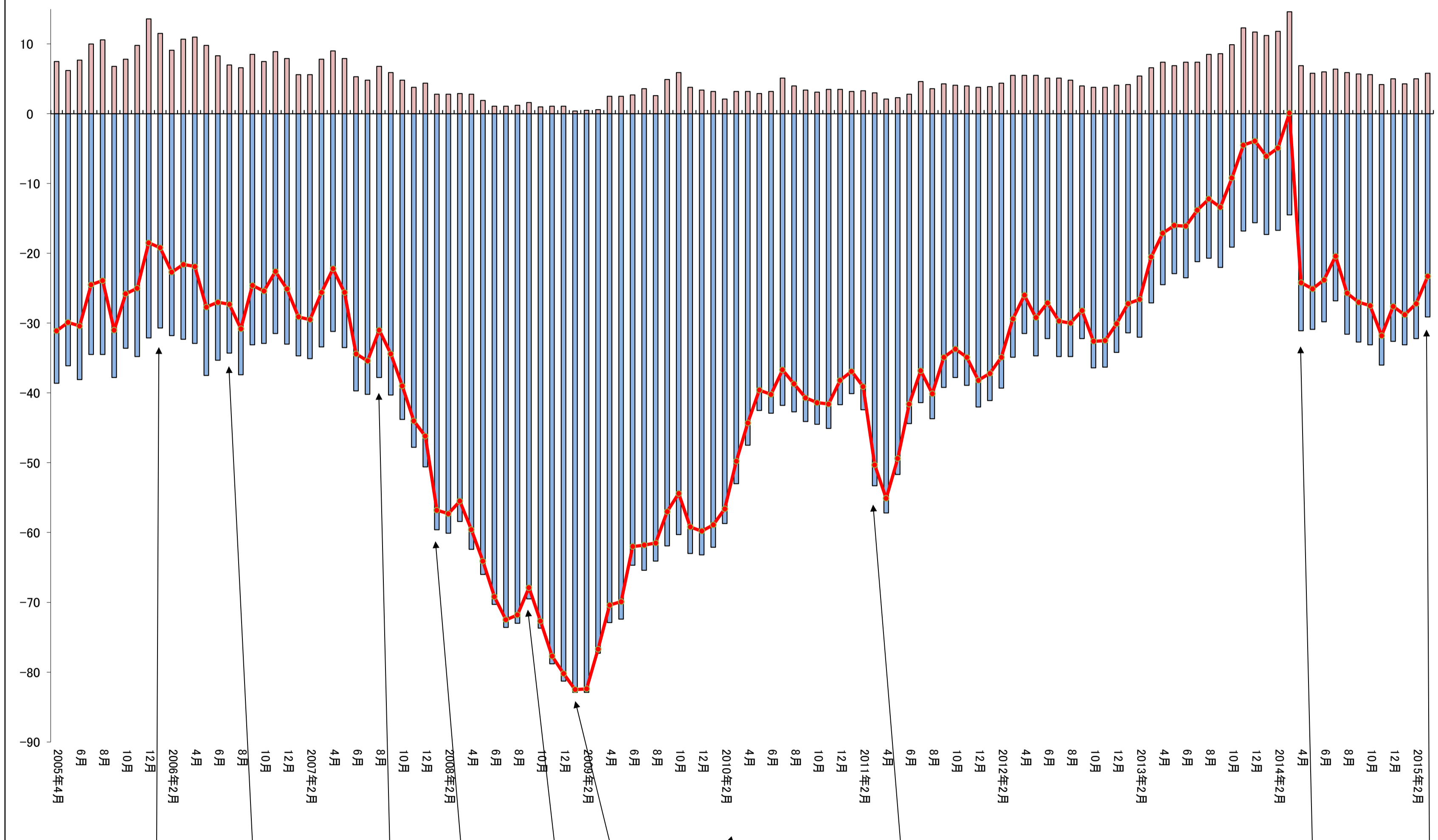
業種	小売業			サービス業		
	2月	3月	前月比	2月	3月	前月比
売上額	▲ 40.0	▲ 31.9	8.1	▲ 29.1	▲ 19.1	10.0
採算	▲ 38.8	▲ 36.6	2.2	▲ 28.0	▲ 21.1	6.9
資金繰り	▲ 32.3	▲ 29.7	2.6	▲ 22.4	▲ 14.6	7.8
業況	▲ 40.5	▲ 37.4	3.1	▲ 28.5	▲ 22.5	6.0

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
● DI



06年01月16日
ライブドア強制捜査

06年07月14日
日銀ゼロ金利政策解除

07年08月09日
BNPパリバ、傘下の3ファンドの償還を一時凍結

08年01月02日
NY原油先物初の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産法適用申請

09年01月
調査開始以来最低数値(-82.5)記録

11年03月
東日本大震災

14年04月
消費税率8%に引上げ

**15年/3月
-23.3**

小規模企業景気動向調査(3月期)における商工会経営指導員の主なコメント

* コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

- ・大きな変化はないが、多少上向きな企業が多い。金融機関の貸出しは少し厳しくなっている。
(群馬県群馬伊勢崎商工会)
- ・自動車関連や一部の建設関連が好調を維持している。
(長野県佐久市望月商工会)
- ・少し好況感がある企業が出てきた。
(滋賀県湖北町商工会)
- ・気候が温暖になってきたので、人の動きが活発になってきた。サービス業(観光・旅館・飲食など)にとっては、良い兆しである。
(大分県九重町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・コスト増加分の価格転嫁の遅れや人手不足等による事業活動の制約を指摘する声があり、回復の兆しが見られる。
(埼玉県鳩山町商工会)
- ・消費の落ち込みは続いており、景気の回復には至っていない。
(石川県門前町商工会)
- ・前年同時期は消費税増税前の駆け込み需要の特需があった業種もあるが、今年度は全般的に対前年比において、売上の減少が目立つ業種が多い。地方経済は回復基調にあるとは全く言えない状態である。
(秋田県白神八峰商工会)
- ・個人事業主が確定申告時期を迎え消費税増税を痛感している。消費税が納税できず運転資金を借入れたり分納を申請する事業主が複数いた。
(群馬県中之条町商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

- ・建設機械部品製造業は、親会社の好調を受け相変わらず忙しい状況続いており、従業員の残業時間も増やして対応している状況。
(香川県高松市中央商工会)
- ・金属加工業について、受注案件は少し増加傾向にある。仕入等材料代の価格高騰に対する値上げにも多少は対応はしてくれている。
(福岡県芦屋町商工会)
- ・自動車部品関連の製造業は、受注が安定しており、忙しい状況が続いている。
(群馬県中之条町商工会)
- ・縫製関連の製造業が、中国からの撤退が原因で、好調になっている。
(奈良県田原本町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・食品加工業者については、消費増税前の駆け込み増収があった昨年と比べると売り上げ減少が多く低迷している。
(茨城県大子町商工会)
- ・食料品関連の製造業は、観光入込客の減少のため地域内での販売高が減少している。
(青森県市浦商工会)
- ・円安による原材料(大豆)の価格上昇が経営を圧迫している。国産大豆は中クラスの材料ですら品薄で高手が出せない状況。
(山口県岩国西商工会)
- ・景況回復が思わしくない中、急速な円安に伴う仕入れ価格の上昇、さらには不安定な原油価格の変動等、依然製造関係業種では景気の見通しの先行きに対する不透明感が残る。
(島根県出雲商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

- ・土木関連の建設業は、公共工事増加のため、売上は増加している。
(長崎県対馬市商工会)
- ・建築関連の建設業では、リフォーム受注など安定推移。
(鳥取県米子日吉津商工会)
- ・公共事業が早めに動いてきたため、小さな事業や下請けを含め受注が安定してきている。
(山形県小国町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・土木建築業は、資材価格・人件費の高騰が続いておりかなり厳しい状況である。
(栃木県芳賀町商工会)

・管内建設業は今もなお従業員不足から外注に頼まざるをえない状況であることに加え、原材料高騰の影響もあり利益を圧迫している。

(東京都日の出町商工会)

・受注は増加傾向にあるが、人手不足や材料高で施工単価が変わらず、価格転嫁が進まないのが厳しい状況は変わらない。

(香川県さぬき市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・耐久消費財関連の小売業は、引越等に伴い、電化製品に少し動きが見られた。

(長崎県雲仙市商工会)

・衣料品小売業は、新入学商品が3月にずれ込んだため売上がやや増加した。

(岡山県浅口商工会)

・衣料関連の小売業は、春物により好調のところもあり。

(石川県白山商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・大型商業施設の進出の影響が出てきており、業況悪化先が出始めている。

(京都府向日市商工会)

・売上額は減少。日用品に関しても消費額が落ち込むなど、まだ増税前の水準には戻っていない。

(宮城県栗原南部商工会)

・衣料品、食料品の小売業は、依然として厳しい環境が続いている。

(北海道乙部町商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・宿泊・観光に関連するサービス業は、学生などの春休み期間に入ったこともあり3月中旬～下旬にかけ売上・入込客数が増加している。

(千葉県鴨川市商工会)

・クリーニング業に関しては冬物の衣替え需要により、多少売上に貢献している。

(神奈川県逗子市商工会)

・洗濯業については季節的要因により一時的に売上が増加。

(山形県村山市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・飲食店では仕入れ価格が上昇しており、消費増税後間もないため値上げが難しく利益を圧迫している。

(香川県さぬき市商工会)

・高齢化しているため、飲食業はやや下降気味である。

(熊本県芦北町商工会)